

## 日米株は軟調、米雇用統計を受け景気不安広がる

- 9月6日に発表された米雇用統計から景気不安広がる
- 米国株は景気不安を受けて軟調、日本株も連れ安に
- 足元の景気実態は底堅く、過度な懸念は行き過ぎか

## ■ 米景気指標の下振れが投資家心理を圧迫

先週のS&P500は前週末比▲4.3%と大幅に下落し、10年国債利回りは3.7%台に低下しました。6日に発表された8月雇用統計等が市場予想を下回り、米連邦準備理事会(FRB)の利下げが後手に回り景気が失速するとの不安が広がっている模様です(図1、2)。世界最大の規模を有する米経済への懸念の高まりから、週明け日本株式市場でも軟調な地合いが継続し神経質な動きとなっています。

## ■ 労働市場は減速傾向も悪化まで至らず

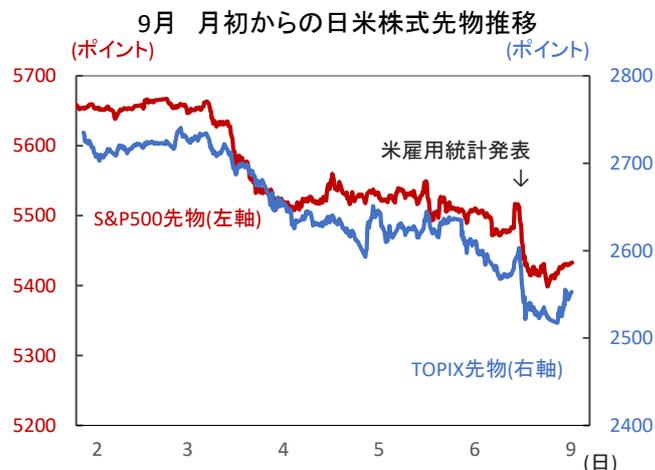
株式市場では、米労働市場の軟化を通じて景気への不安が広がっているものの、過度な不安は行き過ぎと考えます。8月雇用統計の非農業部門雇用者数は前月差+14.2万人(7月+8.9万人)と市場予想+16.5万人を下回り、6-7月値も計▲8.6万人下方修正されていますが、失業率は4.2%(同4.3%)と前月から低下し、ハリケーン「ベリル」の影響で急増した一時解雇者の減少が確認されました(図3)。また、全米の経済情勢をまとめた地区連銀経済報告(ページブック)においても労働市場における企業のレイオフは稀と報告されました。労働市場の減速傾向は続いているものの、米実質GDPの7割を占める個人消費など需要が堅調を保つ中で人員削減の動きも限定的です。

雇用統計後に米連邦準備理事会(FRB)のウォラー理事が講演を行い、雇用と物価のリスクバランスは雇用側に移り、9月利下げ開始が重要と発言しています。先行きの利下げ規模やペースはデータ次第と強調しつつも、失業率上昇は供給サイド主導の可能性を指摘し、労働市場は減速傾向も悪化していないとの見解を示唆しました。

## ■ 株式市場は上値が重くなるリスクに注意

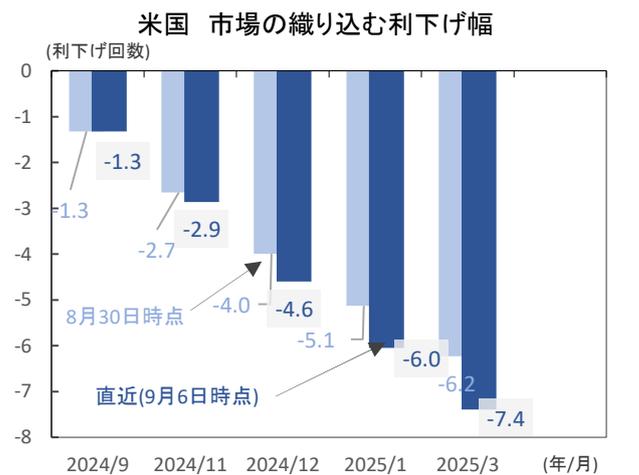
米国ではインフレ率の落ち着きが鮮明化し、緩やかな軟化を示す経済指標が漸増、FRBはまもなく利下げ局面に入るとみています。先行きの金融政策の方向性を巡り、市場関係者の思惑が交錯することで株価の変動性も高い状態が続いていますが、2022年後半以降のインフレ率低下に伴う実質所得改善の効果等から景気は大崩れせず、株価は基本的に底堅いとみます。目先の相場変動に動揺せず、長期的な視点が肝心でしょう。(清水・田村)

【図1】雇用統計の発表後、株式市場は軟調に



出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図2】金融市場は利下げを催促する相場展開に



出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図3】雇用者数の伸びは減速も、失業率は低下



出所) 米BLSより当社経済調査室作成

## 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会